

政務活動費活動報告（研修）

(1) 研修名：

全国コミュニティスクール研究大会 IN 上越

(2) 参加者：

赤井康彦

(3) 日時・場所：

7月31日 10時～17時

新潟県上越市新光町1-9-10 上越文化会館

【1. 研修目的】

彦根市内ではまだ実施だれていないコミュニティスクールは、学校や地域の問題解決に有効であるとの観点から実践発表を聞くことにより我が市に導入することのメリットデメリットを学ぶため

【2. 結果報告】

(1) 内容

実践発表

第2分科会 学校や地域の問題解決や教育活動の変化

子どもたちの「ほっと」「もっと」「はっと」を支える学校支援センター
群馬県伊勢崎市立北小学校

「参画」と「参加」による持続的・発展的コミュニティスクールの構築
新潟県聖籠町山倉小学校

共育・協育・響育で高め合う汝なりコミュニティスクールの取り組み
新潟県上越市直江津小学校

行政説明

コミュニティスクールの動向と今後の方向性

文部科学省初等教育局参事官付 藤原一成

パネルディスカッション

学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティスクール

コーディネーター 千葉大学教授 天笠 茂

パネリスト 日本大学教授 佐藤晴雄

横浜市立東山田中学校 コミュニティハウス

館長 竹原和泉

新潟県聖籠町 教育長 伊藤順治

(2) 考 察

分科会の3校の実践報告では、コミュニティスクールは地域の実情に応じて様々な形態になっていると感じました。

群馬県伊勢崎市立北小学校では、学校課題を解決するためボランティアの登録者数295人もの保護者や地域の方の協力があった。ボランティア内容も多岐にわたり安全パトロール、読書、プール補助、特別支援、クラブなどがありボランティア同士の情報交換会もあるとのこと。新任の先生が職員室に行き来する人がPTAなのかボランティアなのか、先生なのか分かるまで6ヶ月かかったとの言葉に地域の方が学校に深く浸透していると印象に残りました。

新潟県聖籠町の山倉小学校では、地域の皆さんに給食試食会や懇談会を実施し地域との関わりを深め、熟議と言われる手法で地域住民と理解しあい協力し合う手法に可能性を感じました。

上越市立直江津小学校でも熟議という手法を用いており、ここでは、CSディレクターと言われる小学校を退職した校長先生が地域の方々と協力し合っているのが伺えた。

行政説明においては、無償でCSマイスターと言われる専門家を派遣していただけるとのことであるので一度会派や市議会、教育委員会において話をお聞きしたい。

最後のパネルディスカッションでは、様々な角度からコミュニティスクールの良さを述べていただいております。人事評価などの権限があることでコミュニティスクールを敬遠しがちであるが実際には逆に風通しがよくなったなど現場の声も聞くことができた。更にコミュニティスクールと言っても様々な形態であり、問題を学校が抱え込まない学校、地域、子どもにとって良い三方よしのコミュニティスクールや校長に問題を解決させるまでのクッションとしての校長の応援団になっているコミュニティスクールなどがあり彦根市においても試験的に導入を検討する意義はあると感じた研修でありました。